

# 現場からの声

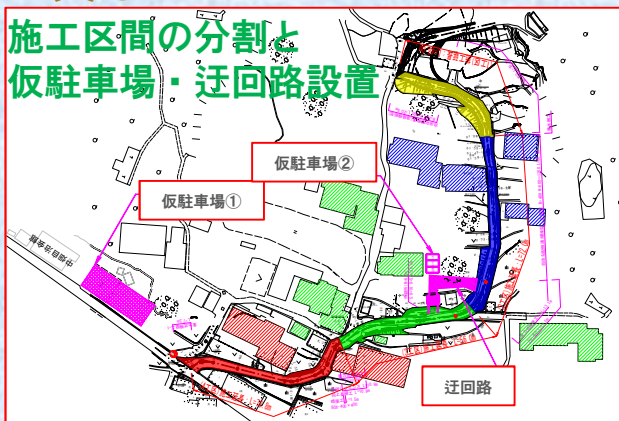
## 現場の特徴・問題点など



現場での打合せ

甚大な災害が発生した泉谷川においては、保全対象の人家も多いため、1日も早い砂防えん堤の完成が望まれました。また、工事用道路として、地域住民の狭小な生活道を拡幅する必要もあり、地域の方々の生活への影響を最小限にする必要もありました。このため、狭い施工箇所の中でスピード感を持った施工が必要でした。

## 工夫など



施工区間の分割と  
仮駐車場・迂回路設置



混合槽の設置

作業導線・仮設備の充実

- 生活道の拡幅工事にあたり、関係住民の方への個別訪問により要望等の収集を行い、工事による影響が最小限となる対応を検討しました。
- 施工区間を分割することにより対象者の軽減を図りました。また、仮駐車場や迂回路を設け、日常生活への影響を最小限に抑え、安全性の確保にも努めました。
- えん堤施工箇所に必要なスペースがないため、ソイルセメントの混合場所を土砂ストックヤード内に設ける等の作業導線の検討や、混合機を2セット設置することで施工効率の向上を図りました。

## 今後の抱負

自治会館に工事だよりを掲示するなど、地域とのコミュニケーションを取りながら、地域の安心、安全な暮らしが1日でも早く取り戻せるよう、工事の早期完成を目指してまいります。

【現場からの声】 洋伸建設株式会社 道原さん(監理技術者)